

今こそ賃上げ、デフレから脱却を！ ＜2014トータルライフアップ全県集会開催＞



2014春季生活闘争方針（抜粋）

スローガン

「すべての働くものの処遇を改善し、
底上げ・底支え・格差是正を実現しよう」

月例賃金の引き上げにこだわる

- ①定昇・賃金カーブ維持相当分 : 約2%
- ②過年度物価上昇分、生産性向上など : 1%以上
- ③格差是正・配分のゆがみ是正 : 1%目安

連合群馬総体として春闘へ取り組むため、1月18日、前橋市総合福祉会館において2014トータルライフアップ全県集会を開催し、産別・地協から289名が参加、連合本部方針を共有するとともに、代表産別から決意表明を行いました。

北川会長あいさつ

賃上げを実現し、景気の好循環へ！

消費税増税は、様々な物価が上がり負担は増えることとなります。当然、収入が増えなければ消費に結びつかないため、収入を増やすことは大切です。



今こそ、従来の労使協議の話し合いに、もう一枚上乗せし、生産性向上や試練を共に乗り越えてきた組合員の働き方を組合リーダーは会社へ訴え、賃上げ実現に向け交渉を進めていきましょう。連合群馬は、群馬県全体が成果のある取り組みとなるよう情報発信をしていきます。

連合本部 労働条件・中小労働対策局 松本局長

2月中旬に要求提出を！



デフレ脱却には、賃金の引き上げにより個人消費を拡大し、景気の好循環を作りださなくてはなりません。今年の春闘は、2015年、2016年に向けた重要なステップです。労使交渉は3月末までが勝負。4月以降は消費税増税により消費が落ち込み、交渉に不利な条件となってしまうため、2月中旬に要求を提出することが必要です。

産別・地協のネットワークを活用し、情報交換をしながら、前進していただきたい。

産別代表による決意表明

■全労金 労金労組 石川統括支部長

格差是正として、臨時職員は少なくとも勤続3年目には、時給換算で1,000円水準となるような制度の見直しを行います。



ワークライフバランスの実現を目指し、年間所定労働時間1,800時間に向け計画的に取り組んでいきます。

■JEC連合 日本カーリット労組赤城支部 金子執行委員長

ベースアップ（物価上昇相当分1%、水準回復分1%）を要求し、ワークライフバランスの実現のため、年間所定労働時間1,900時間未満を目標に取り組みます。底上げ・格差是正として、企業内年齢別最低保障賃金について、すべての組合で協定化を進めます。



■基幹労連 IHI 労連富岡支部 伊藤執行委員長

賃金改善分については、2年分をまとめて要求します（2014・2015年共に3,500円）。

「頼れる産別、賃金引き上げによる経済の好循環、人への投資」を合言葉に、賃金改善の追及にこだわり、取り組みを展開したい。



■ユニオン 三益半導体工業労組 秋山副執行委員長

会社の利益を上げてきたのは、組合員の努力や協力があったことです。組合員の意見を会社に伝え、労働組合結成の原点に立ちかえり春闘に臨みます。



「1000万連合実現に向けた」キックオフ!

1月21日、1000万連合実現に向けたキックオフ集会を、産別・地協代表者・県連合役員50名が参加し開催しました。



集会では、連合本部江口局長による非正規労働者の組織化と題して、「組織拡大に向け、『相手のために思い、相手のために尽くすこと。尽くし方が足りないと組織化は失敗する』ぜひ、これをキーワードにしていきたい。連合はこれまで環境づくりに専念してきたが、これからは“組織化”も“人づくり”も含め、実践部隊として行動を起こしていきます。1000万連合実現に向け、産別・連合・地方連合会の三位一体となった取り組みを展開していきます。非正規社員の組織化は、労働組合の専権事項であり、組織化の壁となっている執行部の意識を変える

組織拡大の意義を述べる本部江口局長

こと。再雇用者の組合員継続の目的は、再雇用者・組合・会社にあり、公正な職場改善への意見集約がはかれるなど、格差是正・組織拡大において重要な取り組みである」など、具体化に向けた講義が行われ、全体で共有しました。

小島副会長は、宮沢賢治の『雨ニモマケズ』の一説になぞらえ「職場に困っている非正規労働者を含め、労働条件の向上、生活向上に向け、取り組まなければいけない」と組織担当としての決意表明がありました。

最後に、鈴木副事務局長による組織拡大に向けた「キックオフ宣言」を採択し、2020年に12万5千(+30,000)連合群馬をめざし、心をつなげた集会となりました。



熱心に聞く産別・地協代表者

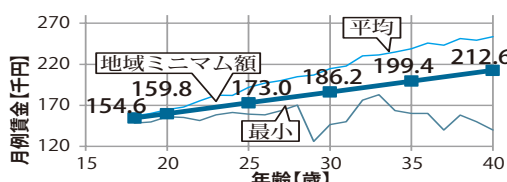
賃金の不合理な格差をなくそう!

〜〜2014「地域ミニマム運動」を展開〜〜

地域ミニマム運動は、中小企業で働く仲間の賃金格差を是正することをめざした全国行動です。組合員300名以下の中小労組へ個別賃金調査を実施し、52組合4,116名の基礎データを基に地域ミニマム額（下限値）を設定しました。各産別・単組において、この水準以下の賃金をなくす取り組みをお願いします。

2014年度年齢別地域ミニマム額(下限値) <設定金額より低い賃金をなくしましょう!>

年齢	設定金額
18歳	154,600円
20歳	159,800円
25歳	173,000円
30歳	186,200円
35歳	199,400円
40歳	212,600円



地域ミニマム学習会開催

地域ミニマム運動の意義と役割を学び、賃金交渉力を向上させるための学習会を1月18日、前橋市総合福祉会館で開催し、産別事務局、中小労組から50名が参加しました。

連合本部労働条件・中小労働対策局の蒲原部長を講師に招き、地域ミニマム金額の設定方法や個人別賃金分析プログラムの活用方法など、単組での要求金額算出につながる手法を学びました。



分析プログラムの活用を真剣な面持ちで学ぶ参加者

社会人になる前に、働くことについて学ぶ〜伊勢崎商業高校の授業に講師派遣〜

伊勢崎商業高校で、働くことについての授業が12月11・12日に行われ、連合群馬から鈴木副事務局長を派遣し、労働組合の役割や働くことについての説明を行いました。



授業は、3年生の全6クラス(226名)に対して行い、労働組合とは何か?働く上で知っておいてほしい労働基準法についての説明や、これから社会へ出る生徒達が抱えている疑問や不安として「ブラック企業とは?」、「人間関係がうまくいか心配」、「仕事のやりがいとは?」について実体験を交えた話をしました。

生徒からは「労働者に関する法律や権利が分かった」、「働くことに対する不安がなくなった」との感想がありました。

連合群馬では、若者の職業観・就労観を高める取り組みとして、太田東高校が行っている『公開みらい学』へ毎年講師を派遣しています。この取り組みを拡大させるため、県や教育委員会、他の高校へのアプローチを行ってきたところ、今回、伊勢崎商業高校から「働くことについて」の授業への講師派遣依頼があり、本授業を行うこととなりました。



真剣にメモをとる生徒達

新春労使共同セミナー・交流会



政・労・使の代表による鏡開き

1月21日、前橋テルサにおいて、2014新春・労使共同セミナーと交流会を（一社）群馬県経営者協会と共同で開催し、来賓・企業・労組などから410名が参加しました。

経営者協会と連合が共同で新春を祝う行事を開催することは、全国でも稀ですが、群馬では新春の幕開けとして、労使で共通の話題をテーマに講師を招いてセミナーを開催しており、本年度12回目を迎えます。

第1部のセミナーは、タレントでアナウンサーでもある有賀さつきさんを講師に迎え、「夢への挑戦～苦手なものに生きるヒントがある～」と題した講演を行いました。

有賀さんは、子ども時代に過ごしたアメリカで言葉の壁にぶつかり孤独を経験しましたが、「自分の人生なんだから嫌なことでもやってみよう」と前向きに取り組んだことで、「人前で話すことが苦手だった自分が、アナウンサーになった」と当時を振り返り、「苦手なこと、嫌なことでも逃げずに行動すれば、チャンスは巡ってくる」と語りました。

第2部の交流会は、県内の政労使が一堂に会した新春の交流を行いました。東日本大震災復興支援として、岩手・宮城・福島の郷土料理や障がい者就労支援事業で製造している保存食を取り入れました。

景況感を反映したのか経営者の方々の参加が昨年より増加し、有意義な情報交換の場となりました。



苦手なことへチャレンジをと語りかける有賀さん

体験学習“男女平等を考える”

12月15日、前橋市総合福祉会館で青年・女性委員会合同行事を開催し、36名が参加しました。

今回は、男女が協力し合って仕事と家庭を両立させていくための体験学習として、妊婦体験、調理実習、グループ討議を行いました。

妊婦体験では、実際に体験用のジャケツを身に着け、歩く、椅子に座る、床に落ちた物を拾うなどの日常的な動作を体験しました。男性からは「思った以上に動きにくく、かがむこともできない」といった感想がありました。

調理実習では、おにぎりや味噌汁、餃子をグループに分かれて調理し、男女ともにネギを刻んだり、餃子を包んだり各グループで協力しあい、出来た物を食べながら交流しました。

女性から「一人で作るより一緒に作る方が楽しい」との声が出ると男性からは「作ってもらうありがたみが分かった」などと感想を交えながらの食事になりました。



慣れない包丁に苦戦しながらの料理

グループ討議では、体験して感じたことを通して、これからの男女平等社会の姿について話し合い、「今日、体験して感じたことを一人でも多くの人に伝えていきたい」「今後もこういった行事を続けて欲しい」との声が上がりました。

群馬高退連第21回総会

11月26日、高齢・退職者団体連合は第21回総会を開催し、17組織より74名が参加しました。

活動・決算報告ならびに新年度活動方針・予算・役員体制が確認されました。

終了後の学習会では、手島税理士より知っておきたい贈与税と相続税について講義を受けました。



連合群馬議員懇の総会を開催！

12月14日、連合群馬議員懇談会は第24回総会を開催し、議員懇・産別・地協から85名が参加し、連合群馬の政策実現および統一自治体選挙に向けた地域基盤の強化を柱とした活動方針を確認しました。

議員懇塚原代表を先頭に、議員懇活動ならびに連合群馬との連携をさらに強めることを共有しました。

総会の前段では、前橋市の「公契約条例」（先行事例）の取り組みの共有と、県および各自治体への広がりに向け取り組むことを確認しました。



塚原県議

海外植林ボランティアを開催

11月7日から11日にかけて、マレーシア・ボルネオ島で、ぐんま労福協と連携した海外植林ボランティアが実施され、全体で17名が参加しました。

植樹地は、一見すると森やジャングルと見える場所ですが、高度成長に伴い海外からの木材の輸入により伐採され、成長の速い外来樹が植えられたことにより、本来の熱帯林とは全然違う森となってしまうています。



急斜面での作業の様子

私たちは、森を元の姿に戻すため、フタバガキ科の苗木を植樹し、時間をかけて苗木を守り育てる活動を行っています。

急斜面での植林作業では泥だらけになりながらも、大変貴重な経験をすることができました。

今回、植樹した苗木が成長して大木となる頃には、本来の熱帯林の姿を取り戻していることと思います。

また、現地との交流として孤児院へ訪問し、構成組織組合員の皆さんから寄せられた、文房具や遊具をプレゼントし、大変喜ばれました。



小川県議が質問に立つ 子宮頸がんワクチンの副反応問題などを指摘



議会で質問に立つ

小川県議

9月議会の後半期議会で、小川県議がリベラル群馬を代表し、質問に立ちました。

12月4日の一般質問で、小川県議（前橋市区・連合群馬議員懇会員）は、高崎競馬場跡地に建設を予定しているコンベンション施設の建設、子宮頸がんワクチンの副反応問題への対応など、県の取り組みについて質問を行いました。

コンベンション施設は、建設・運営コストが県民への負担になる。また、ワクチンの健康被害へのフォローや今後の接種のあり方について意見提起しました。

県内企業への就職促進をはかる

12月9日、連合群馬会議室で労使合同研究委員会を開催し、経営者協会、連合群馬（櫻井副会長、雇用労働委員など）から15名が出席し、労使で県内の労働環境を向上させるための提言について議論しました。

「若年者の県内就職促進と就職後の定着率向上」をテーマにした、労使合同提言内容（素案）について、労使それぞれの立場から意見交換を踏まえ、県内の企業をより多くの学生に知ってもらうための取り組みなど行政への提言につなげます。



働く立場から発言する川村委員

金色有功賞を受賞

11月21日、アニバーサリーコートラシーネにおいて授賞式が行われ、日本赤十字社群馬県支部の金色有功賞を連合群馬が受賞しました。



これは昨年の連合群馬ふれあいフェスティバルの中で、各地協が自主的に募っていただいたカンパ金（601,013円）を寄付したことが評価され、受賞したものです。

ご協力いただきました皆さまに感謝いたします。

【イベントのお知らせ】

■パワハラセミナー

日 時：3月8日（土）10：00～
場 所：群馬県社会福祉総合センター（新前橋）
内 容：講演（講師21世紀職業財団「吉田 仁志 氏」）

■3.8国際女性デー

日 時：3月8日（土）13：00～
場 所：群馬県社会福祉総合センター（新前橋）
内 容：基調講演およびパネルディスカッション

■中小春闘開始集会

日 時：3月20日（木）18：30～
場 所：前橋「中央イベント広場」
内 容：集会およびアピールウォーク
※詳細はホームページをご覧ください。

■フェイスブック

連合群馬ではfacebookを通じた情報提供をはじめました。連合群馬HPのバナーもしくは下記アドレスにアクセスしチェックしてください。

<https://www.facebook.com/gunma.jtuc.rengo>

【お詫びと訂正】224号の地協役員紹介で氏名に誤りがありました。正しくは渋川地協副議長 佐藤隆之さんでした。訂正しお詫びいたします。